

事業番号	07 06 14	事業改善シート (25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	「人生二毛作社会の仕組みづくり」検討事業				担当課	部局	産業労働部	
						課・室	労働雇用課	
総合5か年計画	プロジェクト	5-3-1,2 雇用・社会参加促進			E-mail	rodokoyo@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	1-6 職業能力の開発と安心できる雇用・就業環境づくり 2雇用の促進 3働きやすい職場づくりの推進			実施期間	H25 ~ H25		

1 事業の概要

目指す姿	シニア・シルバー世代が、その培ってきた知識と経験を活かして、積極的に就業や社会参加を行うことができる「人生二毛作」社会実現のための仕組みを作る。		
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳～74歳(前期高齢者)の人口は増加しているが、就業者数は減り、就業率が低下している 人口：H7年246,729人 H22年264,938人(18,209人増) 就業者数：H7年118,225人 H22年106,106人(12,119人減) 就業率：H7年47.9% H22年40.0%(7.9%低下) ・専門的・技術的分野とサービスの分野で、企業が求める人材を確保しにくい状況である ・経済界からは、①全体的な求人が増えていない中、高齢者を1企業が継続雇用することは難しい、②高齢者が長年培ってきた技能を次の世代に伝えることができる社会システムが必要、③技術者、マネジメントや経営計画の専門家、労務管理や給与改正の精通者が不足している、との声がある。 		

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施：可能	新しい仕組みの利用者は①多数、かつ、多様であること、②検討には、経済団体、労働団体や福祉団体、教育団体など多くの関係機関との連携が必要であることから、民間や市町村で行うことは困難であり、県が関与する必要がある。

事業内容	① 成果目標 (H25)			
	人生二毛作推進県民会議において、「人生二毛作社会」の新しい仕組みの検討を行い、平成26年度に新しい仕組みによる業務の開始を目指す。			
	② 事業内容 (単位：千円)			
	項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初) (決算) H26 (当初)
県民推進会議における新しい仕組みの検討	直接	経済団体、創業団体、福祉団体等から構成する「人生二毛作推進県民会議」を延べ4回開催した。	720 951 0	
		合計	720 951 0	

事業コスト	区分(単位：千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算			720	0
	補正予算				
	合計(A)	0	0	720	0
	Aの財源				
	国庫支出金				
	県債				
	その他(諸収入)				
	一般財源	0	0	720	0
決算額(B)			951		
概算人件費			0.20		
概算人件費(C)	0	0	1,652	0	
概算事業費(B(A)+C)	0	0	2,603	0	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
新しい仕組みによる業務の開始	—	H26年度	一部事業開始予定	達成	—

目標に対する成果の状況	<p>4回にわたる人生二毛作推進県民会議による検討結果は以下の①から③のとおり。 このうち、①については、平成26年度から、長野県長寿社会開発センター支部3か所に「シニア活動推進コーディネーター」を配置し取り組む。</p> <p>②、③については、引き続き「人生二毛作推進県民会議」で検討を行い、具体的な取組につなげる。</p> <p>① 高齢者を就業や社会参加活動の場につなぐコーディネーターの配置 ② 高齢者の就業や社会参加に向けて、関係機関・団体が情報を共有し、連携していくための圏域単位のネットワークの構築 ③ 高齢者の就業や社会参加をするために、他の世代を含めた県民の意識啓発を行う。</p>
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	健康福祉部所管の「高齢者社会参加促進事業」において、上記コーディネーターの配置及び人生二毛作推進県民会議の開催により、引き続き、人生二毛作社会の仕組みづくりのための検討及び取組を進める。